



狭山池と狭山の歴史

～未来への文化遺産の継承～
大阪府立狭山池博物館副館長

植田 隆司

狭山池と狭山の歴史

—未来への文化遺産の継承—

2016年9月24日 まちづくり大学

大阪府立狭山池博物館副館長 植田隆司

1. 文化遺産の継承

- 狭山池とは
- ▶ **1400年前**に築造された、現存する日本最古のダム式ため池。
 - ▶ 南大阪地域に農業用水を供給する灌漑機能と、治水機能をもつ。
 - ▶ 飛鳥時代（7世紀）⇒ 奈良時代（8世紀）⇒ 平安時代（9世紀）⇒ 鎌倉時代（12世紀）⇒ 江戸時代（17～19世紀）⇒ 近現代へと、改修を繰り返し、維持管理され、古代から営々と受け継がれた、「**生きた遺跡**」。

狭山池

博物館とは

- ▶ **平成13年（2001年）**にオープンした歴史系の博物館。
- ▶ 狭山池の土木遺産を保存・展示・研究し、**未来へ継承**する博物館。
- ▶ 平成の改修に伴う発掘調査で出土した大型の文化財を**移築展示**。
- ▶ 大阪府都市整備部が設置し、直営で運営。設計：安藤忠雄氏
- ▶ 平成21年（2009年）に**大阪府・大阪狭山市で共同運営**を開始し、**大阪狭山市立郷土資料館**を併設。事業の運営は、大阪府・大阪狭山市・狭山池まつり実行委員会の**三者による協働運営**へ。
- ▶ 年間入館者数は、約10万人（平成21年度以降）。
平成24（2012）年10月に累計入館者数が100万人を突破。

狭山池の 文化遺産

狭山池 : 大阪府史跡名勝 昭和 16 年指定
⇒ **国史跡**に指定 平成 27 年 3 月指定
※ 平成 28 (2016) 年、築造から 1400 年目を迎えた。

利水灌漑施設 : **国重要文化財「狭山池出土木樋・重源狭山池改修碑」** ⇒ 下層東樋 (飛鳥時代・奈良時代)
上層東樋 (江戸時代)・中樋 (鎌倉時代～江戸時代)
西樋 (江戸時代) 平成 26 年 8 月指定

府指定有形文化財「狭山池石樋蓋 (石棺蓋)」 ⇒
北堤盛土内から大正・昭和初年の改修時に出土

市指定有形文化財「狭山池中樋放水部の石棺群」
⇒ 中樋放水部から大正・昭和初年の改修時に出土

土木遺構 : 北堤断面 ⇒ 世界初の保存技術を駆使して移築展示
木製梓工 ⇒ 近世土木技術の高さを証明する遺構

2. 狭山池と狭山の歴史

- 旧石器時代・** 市内各所に石器が散布 ⇒ 狩猟の場
縄文時代 東の遺跡・ひつ池・池之原・寺ヶ池遺跡・東村遺跡・大鳥池遺跡
- 弥生時代** 弥生時代後期の高地性集落が成立 ⇒ 茱萸木遺跡（近大病院）
- 古墳時代** 狭山池主谷の低地に小規模な集落が成立 ⇒ 池尻遺跡（3世紀）
泉北丘陵から市域西側の高位段丘で須恵器生産コンビナート
⇒ 陶邑窯跡群（5世紀前半）
※ 6世紀後半には市域全域へ拡大

飛鳥時代

狭山池築造 616年頃 ⇒ 下層東樋・北堤

※コウヤマキ製樋管の年輪年代測定、狭山池1号窯造営
古代寺院の造営 ⇒ 東野廃寺

奈良時代

狭山池 行基の改修 天平3年・731年

北堤のかさ上げ

天平宝字の改修 天平宝字6年・762年

北堤の大幅な拡幅、下層東樋の延長

平安時代

狭山池 弘仁の改修 弘仁10年・819年頃

僧勤操? 下層東樋の取水部補修

興福寺荘園 狭山荘の成立 ⇒ 池尻遺跡

狭山神社の造営

鎌倉時代

狭山池 重源の改修 建仁2年・1202年

古墳の石棺を用いて「石樋」を伏せる ⇒ 中樋
重源狭山池改修碑 ex. 南無阿弥陀仏作善集

南北朝期

動乱より城郭造営 ⇒ 池尻城跡 13世紀末～15世紀前半
半田城 → 狭山神社の宮山？

池尻合戦 : 延元3年・1338年、正平2年・1347年

戦国時代～

安土桃山時代

狭山池 安見美作守の改修 天文年間頃 16世紀

文禄5年の大地震 北堤一部決壊 1596年

江戸時代

狭山池 慶長の改修 慶長13年・1608年

片桐且元による大規模な改修で再生 西樋材 1599年
元和・寛永・慶安・延宝・元禄・享保・文化・天保・
安政と、以後継続的に改修を実施 ※池守田中家

狭山藩の成立 元和2年・1616年 北条氏信